2020 年 6 月 26 日　　Ｎｏ.４
全日本建設交運一般労働組合　中央本部

建交労

2020 年夏季闘争推進ニュース

都知事選挙・宇都宮健児さん勝利で コロナ対策強化と暮らし・福祉の拡充を

6月18日（木）に東京都知事選挙が始まりました。建交労中央本部は、東京都本部と共に全労連や野党各党が推薦する「宇都宮健児さん」の支援決定を6/16（火）におこないました。宇都宮さんは、長い間の弁護士活動で都民の暮らしと権利を守るために奮闘し、小池都政からの転換をいち早く表明しました。都内はコロナ感染者が後を絶ちません。さらには「緊急事態宣言」による活動自粛の影響で、飲食店や中小・零細企業の破倒産が続出し、経済不振を理由に労働者の賃金カットや解雇も増えています。

小池都政は、この4年間で築地移転にともなう公約破りを平然とおこない、安倍政権と一体なり大開発計画を推進し、安倍政権による消費税増税など国保・介護保険料の負担増などで苦しむ都民に背を向けてきました。コロナ対策に至っては、オリンピックの開催延期が決まるまで、PCR検査の積極推進を拒み、都内での集団的感染爆発を誘発しました。4年前公約した保育園の「待機児童ゼロ」を投げ出し、今年も待機児童は約1万8千人となっています。自民党政治を容認する小池都政から転換するためにも「宇都宮健児」さんの当選を目指して奮闘しましょう。都内在住の友人・知人へ、棄権防止と投票を呼びかけましょう。

20 夏季一時金要求提出 196 組織 49.7% コロナ禍に負けず、有額回答を引き出そう

2020 年夏季一時金闘争のとりくみは、196 組織 49.7%となっています。コロナ禍の影響もあり、まだ 20 春闘が決着していない組織も少なくありません。さらには経済状況が安定しないことを理由にして企業によっては、一時金の減額回答をする可能性もあります。必ず要求提出をおこない、団交開催と有額回答を引き出すとりくみを追求しましょう。県本部・支部は各職場のとりくみ状況を把握し、必要な援助・指導をおこないましょう。データベースへの入力作業も徹底して下さい。

2020年夏季一時金回答状況（県別）　2020年6月26日現在

				月給						
地本名	交渉単位数	要求提出数	要求提出率（%）	要求額（円）	回答数	回答額（円）	前年比（円）	妥結数	妥結額（円）	前年比（円）
JR	7	6	85.7	956,780	6	686,082	-40,896	6	686,082	136,173
北海道	20	6	30.0	550,000	2			2		
青森	4	0	0.0		0			0		
岩手	2	1	50.0	451,332	1	293,367	-3,898	1	293,367	-3,898
宮城	1	0	0.0		0			0		
秋田	3	0	0.0		0			0		
山形	1	0	0.0		0			0		
福島	2	0	0.0		0			0		
茨城	3	1	33.3	880,000	1	683,403	170,234	1	683,403	170,234
栃木	3	3	100.0	766,667	3	328,444	328,444	1	530,000	
群馬	4	0	0.0		0			0		
埼玉	8	0	0.0		0			0		
千葉	1	1	100.0	900,000	1	450,000		1	450,000	
東京	30	22	73.3	854,777	4	433,484	-109,804	4	433,984	-109,424
神奈川	13	10	76.9	813,689	6	260,519	103,444	1	545,000	299,467
新潟	4	0	0.0		0			0		
富山	2	1	50.0	600,000	1	400,000	-7,000	1	400,000	-7,000
石川	0	0			0			0		
福井	0	0			0			0		
山梨	1	0	0.0		0			0		
長野	1	1	100.0	1,000,000	0			0		
岐阜	7	3	42.9		3	123,500	-47,650	1	100,000	-71,150
静岡	12	7	58.3	784,607	3	333,333	-31,222	2	380,000	150,000
愛知	69	13	18.8	659,538	34	336,280	-40,862	34	359,614	-25,051
三重	4	4	100.0	380,000	3	301,799		3	301,799	
滋賀	6	6	100.0	500,000	4	209,380	-22,525	3	209,380	-22,525
京都	34	11	32.4	795,455	3	228,467	1,733	2	223,623	10,155
大阪	42	29	69.0	879,655	11	271,771	-95,501	6	318,667	-94,514
兵庫	53	42	79.2	997,561	7	333,041	-76,521	5	328,548	-81,014
奈良	0	0			0			0		
和歌山	10	4	40.0	345,000	4	113,000	-32,400	2	176,000	19,250
鳥取	2	1	50.0	700,000	1	245,000	-10,000	1	245,000	-10,000
島根	0	0			0			0		
岡山	0	0			0			0		
広島	5	3	60.0	866,667	0			0		
山口	0	0			0			0		
徳島	6	5	83.3	760,000	0			0		
香川	0	0			0			0		
愛媛	0	0			0			0		
高知	1	0	0.0		0			0		
福岡	11	10	90.9	638,020	3	138,175	-156,471	3	138,175	-156,471
佐賀	3	1	33.3	843,082	2	398,980	-356,876	1	37,500	-718,356
長崎	1	1	100.0	510,600	1	265,512	682	1	265,512	682
熊本	7	0	0.0		0			0		
大分	4	0	0.0		0			0		
宮崎	0	0			0			0		
鹿児島	1	0	0.0		0			0		
沖縄	2	2	100.0		2	112,500	-22,500	2	112,500	
全国平均	390	194	49.7	814,451	72	318,050	-30,504	53	350,372	-11,482

宇都宮けんじを知ってください

愛媛県の小さな漁村に生まれ、9 歳の頃、開拓農家として大分県に移り住む。電気も届かない荒れた土地を懸命に耕す父親の姿を見て育った。親孝行したい一心で、猛勉強し、東京大学に入学。

大学では、卓球部で汗を流す一方、「父のような、貧しく苦労する人びとのために、力を尽くそう」と弁護士になることを決意。在学中に司法試験に合格すると家計のために中退。下積みの弁護士生活の中でサラ金問題と出会う。取り立てに追われる人の苦しみを目にして、解決のために奔走。悪徳サラ金業者からも、何があっても引き下がらない弁護士として知られる存在に。

2006 年、多くの仲間とともに国会へ働きかけ、グレーゾーン金利を撤廃させる貸金業法の改正を実現。その間、地下鉄サリン事件が発生し、被害対策弁護団長に就任。地下鉄サリン事件の被害者をはじめとするオウム真理教による犯罪被害者の救済に奔走。国に対してもオウム真理教犯罪被害者への補償を強く働きかけ、2008 年には被害者救済立法を成立させる。個別被害者の救済と法制度の改革を積み重ねてきた。

2010 年、3 万 2000 人の弁護士を束ねる日本弁護士連合会（日弁連）の会長選挙に、日弁連史上はじめて完全無派閥で立候補。激戦の末に、当選を果たす。

「日本の社会は、私の父や母のように黙々と働いてきた、名もない農民や漁民、労働者などによって支えられてきた。政治家とは、そうした人びとのために働く存在。ひとりひとりが大切にされる社会にしていかなければ」と語る。

http://utsunomiyakenji.com

フェイスブック
https://www.facebook.com/TeamUtsuken/
https://www.facebook.com/utsunomiyakenji
https://www.facebook.com/TOKYOUTSUKEN/

ツイッター
本人 @utsunomiyakenji
広報 @utsukenpress
応援 @teamutsuken

インスタグラム
utsunomiya_kenji

ツイキャス
http://twitcasting.tv/@teamutsuken
http://twitcasting.tv/@utsunomiyakenji

SNS で日々発信中！
ぜひフォローを！

希望のまち東京をつくる会
〒113-0033
東京都文京区本郷 1-4-6 ヴァリエ後楽園 303 Tel:03-5844-6046 Fax:03-5844-6047

このビラは東京都知事選告示日前日の 6 月 17 日まで配付できます。
6 月 18 日以降は「証紙」を貼った証紙ビラのみ使用できます。

希望のまち通信

2020 年 7 月号

発行者：希望のまち東京をつくる会
発行日：2020 年 6 月 1 日
機関紙：希望のまち通信

〒113-0033
東京都文京区本郷 1-4-6 ヴァリエ後楽園 303
Tel: 03-5844-6046 Fax: 03-5844-6047

宇都宮けんじ

宮部みゆきのベストセラー「火車」のモデル
日本弁護士連合会元会長

都民 1,398 万人のいのちと暮らしを守りぬく！

3つの緊急課題

1. 医療体制を充実させ、補償の徹底でコロナ対策を抜本的に強化。

- ▶PCR 検査体制の強化
- ▶病院、保健所、医療従事者に対する財政支援を強化
- ▶病床を増やし、命を守る医療器具の充実
- ▶命をつなぐ生活補償の徹底
  中小業者、非正規労働者、フリーランス、学生も対象に

2. 都立・公社病院の質の低下につながる「独立行政法人化」を中止。

3. カジノ誘致計画を中止する。

都民一人ひとりが希望の持てる東京へ。都政のすべてを、都民のために。

地方自治法では地方自治体の役割を「住民の福祉の増進」と定めています。したがって、都政の役割は都民一人ひとりの命と暮らしを守ることにあります。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、都民一人ひとりの雇用を守る、営業を守る、住まいを守る、生活を守る、命を守ることこそが都政の最大の役割です。

今こそ、都民一人ひとりが、希望の持てる都政を確立するときです。

宇都宮けんじと一緒に、都政を都民の手に取り戻しましょう。

あらゆる貧困をなくす

- ●働く者の貧困～正規労働者を増やし、公契約条例を制定する。
- ●住まいの貧困～都営住宅の戸数を増やす。家賃補助・公的保証人制度の導入。
- ●子どもの貧困～学校給食を完全無償化する。
- ●女性の貧困をなくし、ジェンダー平等社会を推進する。

都民の命と健康を守る

- ●都立･公社病院の独立行政法人化（実質的な民営化）を中止。
- ●保育士・介護労働者の労働条件を改善し、認可保育園・特別養護老人ホームを充実させる。
- ●視覚障害者の転落防止のためのホームドアを設置。障害者差別のないバリアフリーのまちづくり。
- ●横田基地へのオスプレイ配備を、都民の安全のために反対する。

住んでよかった東京を

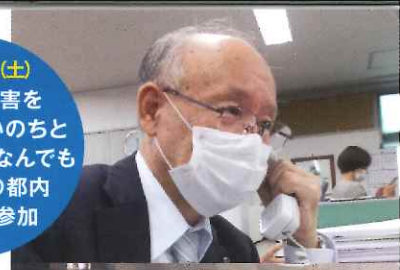
- ●防災・減災・人間らしい避難者生活の確立。
- ●気候変動対策を抜本的に強化し、緑と都市農業を守る。
- ●地域住民の意見に耳を傾け、道路政策を見直す。
- ●騒音が激しく、落下物の危険がある、羽田空港新ルート低空飛行の実施に、都として反対する。
- ●カジノ誘致をしない～人の不幸を踏み台にする経済政策はとらない。
- ●都民参加型の都政へ。一定額の予算の使途を都民が提案し、投票で決める制度の強化。

誰もが学べる東京へ

- ●義務教育は、修学旅行や教材も完全無償化
- ●所得制限のない高校授業料の無償化
- ●夜間中学･夜間定時制高校の拡充
- ●都立大学･専門学校の授業料半額化、無償化を目指す。

人権が守られる暮らし

- ●罰則付きヘイトスピーチ禁止条例を制定する。
- ●同性カップルのパートナーシップ制度の導入。
- ●出前福祉制度の導入～福祉にたどり着けない悲劇をなくす。
- ●子どもの権利条例をつくる。



6月6日（土）
「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守るなんでも相談会」の都内相談会に参加

3月30日（月）
引きこもりの自立支援を謳う「引き出し屋」と呼ばれる悪質業者の関係者を逮捕監禁罪等で告訴する告訴状を警視庁牛込警察署に提出

3月22日（日）
地下鉄サリン事件が発生してから25年。地下鉄サリン事件被害対策弁護団団長・オウム真理教犯罪被害者支援機構理事長として、犠牲者を追悼し霞ヶ関駅で献花

3月9日（月）
「新型コロナウイルス対策のための特措法改正に反対する緊急声明」に関する記者会見を行いました

オリンピック問題への対応

感染症対策の専門家が来年の開催を困難と判断した場合、IOC に対して中止の働きかけをする。浮いた予算を都民の命と暮らしを守るために使う。

2019年
12月10日（火）
都政監視委員会の皆さんと都議会を傍聴。傍聴終了後、傍聴参加者の皆さんと懇親会を行いました